

令和五年度 中学生の「税についての作文」

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会 優秀賞

救われた笑顔

野田市立岩名中学校 第三学年 山口 楓恩

私は生まれつき、口蓋裂という病気を持っています。そのため、今でも手術跡が残っているし、小学生の低学年の頃までは、口蓋裂の影響で歯のかみ合せはあつていなくて、歯ならばもガタガタで幼いながらに、「バカにされないかな。」などと不安や恥しいと思ひ、学校では歯を出して笑うことができませんでした。

でも、そんなとき年に一度通院していた病院の人に、「矯正治療で歯並びを治してみたらどうかね。」と矯正治療をすれば歯並びを改善することができると教えてもらいました。しかし、矯正治療には平均で100万円から170万円ほどするといわれています。それは、公立に通う中学生が3年間にかかるとされている教育費の約150万円と変わらないくらい、決して安いといえないほどお金がかかります。でも、「育成医療制度」という口唇口蓋裂治療に対する医療費補助制度がありました。この制度は「税金」によって賄われて、口唇口蓋裂の全ての手術や矯正治療において医療費の補助が受けられるというものでした。

私は、この制度によって助けられた一人です。この制度があつたことで、8年間治療することができたし、歯のかみ合せや歯並びが改善してきました。全ての治療が終わるまで、あと一年くらいはかかるけれど、今では自信を持って素直に歯を出して笑うことができます。

「楓恩は色んな人に支えられて生きてるんだよ。いっぱい感謝しなきゃね。」この言葉は昔からお母さんに言われてきた言葉です。私はずっと「色んな人」のことを、家族・病院でお世話になった方・学校の先生たちのことだと勘違いしていました。でも「税についての作文」を書くとなったことで、初めて口唇口蓋裂への治療補助制度があることを知り、その制度に「税金」が関わっていることも知りました。私のことを支えてくれる「色んな人」には、名前も性別も顔すらも全く知らない「税金を払ってくれている人」もふくまれていました。きつと、この作文を書かなければ私のことを支えてくれる多くの人の存在に気がつくことができなかつた思うし、「税金」のありがたさやすこさを知ることができなかつたと思います。

私はまだ、消費税ぐらいしか払うことができないけれど多くの人が払ってくれた「税金」に助けてもらったので、名前の漢字にあるように「税金」を通して多くの人に「恩」を返していきたいです。